

「喫煙者に顔写真入りの ID カード」の記事を目にして

未成年者の喫煙予防のために、20才以上の喫煙者に顔写真入りの ID カード (Identification Card) を発行して自販機でも識別システム導入との新聞報道 (2 P に添付: 参照)。その内酒類もかな? 喫煙の身には、人ごとではない。

古い(?) 人間の私は、未だカードで店で支払い経験はないし、ATMすら、ようやく利用法を学び出したハビリ中の身。

ネットバンクもあり、携帯電話で支払いもできる店も増えて来ているようだし、セキュリティ関係では、手の静脈、指紋、瞳孔、顔立ち等で識別でき、活用されつつある世の流れよう。

何でもかんでも ID カード必要では、あんなに国民総番号制には反対の世論はどこにいったのかなあと感じてしまう。

「官」による国民総番号制には反対したところで、「民」の ID カードでは完全に管理されているのだから、実質同じでないかなあと、つい感じてしまう。

プライバシー云々をいったところで、家からタクシーを頼む時は電話番号さえ告げれば来てくれる世の中。プライバシー云々もあったものでない。

だから自分は、名前、住所、年齢、性別は、もうプライバシーの範疇にあらず、と開き直っている。

「官」故の個人情報管理云々の問題もあるのだろうが、では障害者手帳、健康保険証、選挙投票券等は、「官」による管理とは云わないのだろうか? 既に障害者手帳には写真貼付が義務づけられている (障害者手帳が ID カード形式になれば、持参・保持がどんなに便利かと常々思っている)。

カード毎の暗証番号を記憶するのが大変な身から云えば、何枚も色んな ID カードを持たされるよりは、一枚で済むカード制導入にならないかなあとと思う。

だって、喫煙購入カードには顔写真識別さえ導入され、街角に溢れる自販機に識別装置をつけるらしい世の流れなのだから、そう技術的、設備的、経済的に大変なことではなさそう。

「顔が利く」、「顔がものをいう」世の中こそ、正に ID (Identatei: アイデンテイテイ) 尊重社会ではないだろうか (笑)。

ただ、顔写真等識別機のある場に行けない障害者や高齢者は、どうするのだろうかといふ考えてしまう。そうした課題の解決策をみんなで見出さなければならぬところが、ID 尊重の世になるということかなあとも思う。

それにしても、便利な世でもあり、窮屈な世でもあり、それだけに不自由する人の問題も生じそう。

(2005 年 10 月 28 日 記)

---

## たばこ自販機、ICカードで成人識別 全面切り替えへ

2005年10月28日05時53分

未成年者による喫煙の温床と批判されているたばこの自動販売機について、日本たばこ協会など業界3団体は27日、全国62万台(04年12月現在)すべてを08年末までに大人だけに発行されるカードがないと購入できない機種に置き換えると発表した。自販機によるたばこ販売は国内市場の5割を占めるが、未成年者の喫煙対策に業界として乗り出す。

新しい自販機は、20歳以上の人だけに発行されるICチップ入りの非接触型カードを自販機にかざさないと、たばこが買えない仕組みになっている。来年度から地域ごとに自販機の交換とカードの発行を進め、段階的に全国に広める。

カードは1人1枚の発行で、日本たばこ協会に郵送で申し込み、無料で発行する方法になる見通し。コンビニエンスストアやたばこ屋などの店頭での申し込み受け付けも検討する。

申し込みには、パスポートや免許証など生年月日と本人確認ができる書類のコピーと、本人の顔写真が必要になる予定だ。他人に貸与しにくくするため、顔写真が印刷される。カードにはプリペイド方式の電子マネー機能もつく。

コンビニエンスストアやたばこ屋の店頭で買う場合は、カードは不要。同協会は「店頭では罰則規定がある未成年者喫煙禁止法で年齢確認が義務づけられており、身分証明書の提示を求めるとして未成年者の購入は防げる」と説明している。

厚生労働省によると、喫煙経験のある高校3年男子の75.7%(00年度)が自販機でたばこを買っていた。未成年のたばこ購入の多くが自販機によるのが実態で、早急な対応が求められていた。

業界では02年4月から1年間にわたり千葉県八日市場市で、04年5月から現在まで鹿児島県の種子島で、それぞれ成人識別機能つき自販機の導入実験を行ってきた。喫煙者の約70%がカードを取得し、喫煙による未成年者の補導件数が減るなどの効果があがったという。

同協会では「新機種への置き換え後、未成年の購入防止に効果が認められれば、自主規制している深夜販売の制限を解除することも検討したい」としている。

新機種への切り替えやデータ管理システムなどの初期投資に800億～900億円かかる見込み。同協会と全国たばこ販売協同組合連合会、日本自動販売機工業会の3団体で分担する。

---